

特別栽培農産物栽培管理計画

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	令和7年1月31日

生産者名	杉山修一	品 種 名	亀の尾
住 所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ 場	別紙圃場一覧参照
電 話	0287-46-0741	栽培面積	3268㎡
作目・作型	水稻	収穫期間	9月1日～10月20日

(計 画)

○作業内容

(単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作 業 名	年月日	資 材 名	施用量	成分回数・ 窒素施用量	備 考
耕起	24.10				ロータリー耕
土壌改良材散布	225.3	スリヤグアノ	20kg		
種子消毒	25.3上旬	温水			温湯消毒
播種	25.4上旬	水稻覆土専用培土(無肥料) 発酵鶏糞	8.2リットル 0.1kg		10畝20枚換算
発芽	播種後 5～7日				育苗ハウス内に積み 上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認 後～田植 終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	25.3上～ 4月				ロータリー耕
水管理作業	25.4上 旬～落水 まで				軽トラック、 1.5トン、 2トン車等
代掻き作業	25.4上旬 ～5月中 旬				代かきハロー
田植え	25.4下旬 ～5月下 旬				田植え機 肥料同時散布 植え付け坪あたり 株数50～60株植え
大麦くず散布	25.5下旬	大麦選別くず	25kg		
除草剤散布	田植え後 7～10日	エリジャンジャンボ 流星ジャンボ	0.3kg 0.4kg	1回 3回	
殺菌剤散布	7/20 8/10	ブラシンフロアブル ブラシンフロアブル	0.1リットル 0.1リットル	2回 2回	
収穫、乾燥	25.9中～ 10上				自脱コンバインに よる収穫及び遠赤 乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合 わせ順次 調整				粗撰、籾すり、網 目選、石抜き、色 彩選、水分選、袋 詰、特裁格付け、 農産物検査以降出 荷

○資材の使用内容

農 薬 成 分 回 数		
成分回数	基準値（慣行）	節減割合
8	16	5割減

窒素施用量（kg／10a）		
窒素量	基準値（慣行）	節減割合
0.1kg	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農 薬 名	成 分 名
エリジャンジャンボ	プレチラクロール 15.0%
流星ジャンボ	フェノキトリオン7.5% ペントキサゾ ン6.250% メタゾスルフロン2.5%
ブラシンフロアブル	フェリムゾン 15.0% フサライド 15.0%

肥料の名称 ※	窒素成分割合(%)

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	1箱当たり窒素施用量	10a当たり使用箱数
水稻覆土専培土(無肥料)	不使用	20枚

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

特別栽培農産物栽培管理実績

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	令和7年1月31日

生産者名	杉山修一	品 種 名	コシヒカリ
住 所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内 7 4 2	ほ 場	別紙圃場一覧参照
電 話	0 2 8 7 - 4 6 - 0 7 4 1	栽 培 面 積	43557㎡
作目・作型	水稲	収 穫 期 間	9 月 1 日 ~ 1 0 月 2 0 日

(実 績) 亀の尾

○作業内容 (単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作 業 名	年月日	資 材 名	施用量	成分回数・ 窒素施用量	備 考
耕起	24. 10				ロータリー耕
土壌改良材散布	225. 3	スリヤグアノ	20kg		
種子消毒	25. 3上旬	温水			温湯消毒
播種	25. 4上旬	水稲覆土専用培土(無肥料) 発酵鶏糞	8. 2リットル 0. 1kg		1 0 畝 2 0 枚換算
発芽	播種後 5～7日				育苗ハウス内に積み 上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認 後～田植 終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	25. 3上～ 4月				ロータリー耕
水管理作業	25. 4 上 旬～落水 まで				軽トラック、 1. 5トン、 2トン車等
代掻き作業	25. 4上旬 ～5月中 旬				代かきハロー
田植え	25. 4下旬 ～5月下 旬				田植え機 肥料同時散布 植え付け坪あたり 株数50～60株植え
大麦くず散布	25. 5下旬	大麦選別くず	25kg		
除草剤散布	田植え後 7～10日	エリジャンジャンボ 流星ジャンボ	0. 3kg 0. 4kg	1 回 3 回	
殺菌剤散布	7/20, 8/10	ブラシンフロアブル ブラシンフロアブル	0. 1リットル 0. 1リットル	2回 2回	
収穫、乾燥	25. 9中～ 10上				自脱コンバインに よる収穫及び遠赤 乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合 わせ順次 調整				粗撰、籾すり、網 目選、石抜き、色 彩選、水分選、袋 詰、特裁格付け、 農産物検査以降出 荷

○資材の使用内容

農 薬 成 分 回 数		
成分回数	基準値（慣行）	節減割合
8	16	5割減

窒素施用量（kg／10a）		
窒素量	基準値（慣行）	節減割合
0.1kg	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農 薬 名	成 分 名
エリジャンジャンボ	プレチラクロール 15.0%
流星ジャンボ	フェノキオトリオン7.5% ペントキサゾ ン6.250% メタゾスルフロン2.5%
ブラシンフロアブル	フェリムゾン 15.0% フサライド 15.0%

肥料の名称 ※	窒素成分割合 (%)

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	1箱当たり窒素施用量	10a当たり使用箱数
水稻覆土専培土(無肥料)	不使用	20枚

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄（署名・印）	これまでの農薬成分回数及び 化学肥料施用量（kg/10a）		備 考
	農薬成分回数	窒 素	
25年8月31日 小野崎勇治 	8回	0.1kg	
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項